令和3年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 三位決定戦 [159]



(-社)兵庫県サッカー協会 兵庫県高体連サッカー部

日時		202	1 年	6	月	6 E	3 (E	(日) 11			: 00 +		オフ	会 場		申戸.	ユニ	バー記	念競技場						
Ŧ	(候	晴れ	l	風	微	風	ピッチ	Œ	然芝	• 人I	芝	・クレ	·— !	状 態	201	良好	試	合形式	70 5	分 /	延長	20	分 /	PK戦	有
運営責任		笠原 弘樹		会場		主任	三任 石塚		俊一		Ē	記録		芝切		刀 淳 /		渡邉		悠	観衆ー		_	人	
È	審		小林	\林 清訓		副智	§ 1	藤田		和昭	和昭		副審2		亀		田 詩真		第4の審判員		田中 章裕				
チ	ーム名										0		前半 2			チーム名							ki	ck off	
		油	戸国際大阪			1屋	\$校						後半 1					ŧ	⋾屋	学	貫	高林	♦		
		IT				יו שבוו ני	J) 入	X		0		辺	延前		3			,	<i>'</i> _	J		ו ערו	^		
							Ĭ	選手番	등 P	1		辺	E後		_	P :	選手都	물물							
								OX	— K 先 戦			Pł	く戦			K 戦	先 C	×							
7	交代			シュート	-		55/	エ	47	(24年	番	片 翠	/六 罕	番	55/	±	- FO	(半年)		3	シュー	 		交代	;
No.	OUT時間	延後	延前	後半	_	前半	- 選	手	名	(学年)	등	位置	位置	号	選	手	名	(学年)	前半	1	後半	延前	延後	OUT時間	No.
	分						吉	岡 虎	太郎	2 #	1	GK	GK	(12)	久傷	2	優	3 年						分	
	分					1	髙	岡	慶樹	2 年	15	DF	DF	2	JIIC	〕 道	置	3 年						分	
	分			1			山:	本多	可良	<i>3 </i>	23	DF	DF	4	柏木	二点	惟太	2 年						分	
	分			1			岡	⊞ ;	涼弥	2 年	24	DF	DF	5	山南	 陽	易向	<i>3 年</i>						分	
	分						柴	⊞ ;	遥矢	<i>3 年</i>	5	DF	DF	15	吉田	3	開	2 年			1			分	
	分			1			野	嶋	圭人	3 年	7	MF	MF	6	政多	爱	3承	<i>3 隼</i>						分	
	分			2			竹	内	崇士	3 年	(10	MF	MF	17	酒夫	- 駹	6—	2 年	1 *		1			67 分	\Box
	56 分					1	辻	⊞ ;	翔也	3 年	6	MF	MF	10	倉州	<u>/</u>	諒	2 年	1 *					48 分	
	分			1			丸		幹太	2 #	4	MF	FW	13		ット		2 年	2			1		70-2 分	
	56 分						児		18 🖯	2 #	-	MF	FW	14	出口] 道	5人	2 年	2		1	1		63 分	
	分			4			ф	Ш	恒汰	<i>3 </i>	9	FW	FW	11	小杉	环	 統	<i>3 隼</i>	1					61 分	
	分						谷	7	榛人	1 年	21	GK	GK	1	重田	3	を表	2 年						分	\Box
	分						坪	⊞ §	星空	<i>3 年</i>	3	DF	DF	3	奈木	污污	京弥	<i>3 </i>						分	11
	分	1					Ш	西(俊輔	3 年	2	MF	DF	23	藤原	新	部	3 年						分	\exists
	分	+					大	西 ;	悠聖	<i>3 年</i>	18	MF	DF	25	岩本	. 身	₹生	2 年			1			分	13
	分						Ш	﨑 (建希	<i>3 年</i>	22	MF	DF	26	矢泽	2	遼	1 年						分	\neg
	分						市	Ш	万紘	2 年	28	MF	MF	7	大島		包也	2 年						分	14
27	分			1			服	部	宇未	3 年	8	FW	MF	8	世羅	1 オ	和	2 年						分	17
6	分						井	上(<i>3 年</i>	11	FW	MF	16	藤田	9 悠	統希	3 年			2*			分	
	分	4					ф		斗軌	3 年	17	FW	FW	18	野田		京佑	2 年						分	\dashv
B	計 間	警・退	No.	氏	名	事由	合言	延後	延前 後	後半 前	前半	チー	ム合計	前	半 後	半 3	延前 延後	合計	時間	警	• 退 No	. 氏	名	事	由
43 分		警	10	竹内	- 土	ラフ	13			11	2	1	<u>. – ト</u>	7	_	6		13	50 3		<u></u>	JIIC	〕 遥 🗆	. 反	ス
	分						11			6	5	G	K	3	3 1	1		14	3	分					\neg
	分						3			2	1	С	K	С)	1		1	3	分					\neg
	分						7			3	4	直接	ξFK	С)	1		1	3	分					\neg
	分	1					2			2	0		ξFK	1	()		1	3	分					\neg
	分						0			0	0		K	С) ()		0	-	分					\exists
			警告事[由] 反:	ス・ラ	フ・異	義 • 繰近	▼ 遅	延•距	離・無力	入・無	無去		[ì	艮場事E	b]	不正・	乱暴•	つば・阻	(手)・[阻(他)・	・侮辱・	警2		Ħ
	時間												- S	\neg											
		23 分 芦屋学園			1	17 酒井		0 - 1 2		左 11 (\cap	17		7 :	S									\neg
		31 分 芦屋学園		1	0 倉光		0 - 2 2		左	14	\cap	中央 10			HS										
得	= [65 分	芦	屋学園	1	6 藤	⊞ () –	3 4	中央	6	\rightarrow	16	~	٠ (3									
		分						-																	
片	Ā	分						_																	
糸	_E	分						_																	
		分																							
渥	<u> </u>	分						_																	
1		分																							
		分																							
L		分																							
										戦評者			[芦月]		名【		野・米]
		神戸国	際附1	-4-2	-3-1	1、芦	屋学園	1-4	-3-3	でスタ	ヲー	卜。祁	戸国	際附	はボ	ラン	チ6	辻田、	⑩竹内:	が足っ	トでホ	ボールを	受け	ながら	
単	神戸国際附1-4-2-3-1、芦屋学園1-4-3-3でスタート。神戸国際附はボランチ⑥辻田、⑩竹内が足下でボールを受け、⑦野島、②児玉、④丸山が連動して相手守備ブロックのギャップを狙いゲームを組み立て、芦屋学園は前線からプレスを																								
1	ボールを奪った後は素早くゴールを目指し、④柏木のロングスローで押し込む。飲水タイム直後、芦屋学園はFW												_												
		ドに流れボールを収めて主導権を握ると、⑪小林のクロスから⑪酒井が先制点を上げる。対する神戸国際附もショー果的に使い、芦屋学園ゴールに迫るも、相手DFの背後に抜け出すことができず、ゴールを奪えずに前半を折り返す。																							
1		県的に使い、芦屋学園ゴールに追 「も互いに同じスタイルで試合か																							
<u> </u>																			「フンチへのヒルドアッ ルを貫いてゴールを目						
																			芦屋学						

する。